

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	3100 企画事務費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
① 企画事務費		3100	(成田空港)	一般	2	1	7		☒ 主な事業（重点施策）重1 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
基本施策		3	観光の振興	根拠法令	成田空港活用協議会規約				
施策の展開		7	観光情報発信の推進	戦略事業	37	成田空港の活用			
施策の展開				戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	日本の空の玄関口として国内、海外問わず多くの人が利用する成田空港を活用した効果的な情報発信を通じて、産業や観光の振興に取り組む。そのため、成田空港の活力、そして空港を中心とした広域的な人・物・財の流れの創出という新たな可能性を千葉県経済の活性化につなげるために、官民が連携して事業を推進していくことを目的とする成田空港活用協議会（以下、「活用協議会」という。）に参加し、その活動を通じて市のPR等を行い、認知度を高める。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
成田空港を活用した千葉県経済の活性化の取組を「オール千葉」で一丸となって進めるべく、県内の経済団体、企業（観光、産業、交通その他の団体）、地方自治体で組織する成田空港活用協議会が設立されたことにより、市のPR等を行うために活用協議会に参加。	活用協議会の開催する事業で、市が参加することが適当とされる事業の数が少ない。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
総合戦略外部委員から「成田空港との距離的優位性から、輸出の拠点として活用する取組を考えてみてはどうか。」との意見をいただいた。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円	
1.負担金補助及び交付金	50:成田空港活用協議会負担金		
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円	
1.国庫支出金	0:		
2.都道府県支出金	0:		
3.地方債			
4.その他	0:		

事業費	費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	50	50	50	50	50
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円	50	50	50	50	50
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
5. 一般財源		千円	50	50	50	50	50	

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大	5人	×	2日	=	延べ	10人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	-----